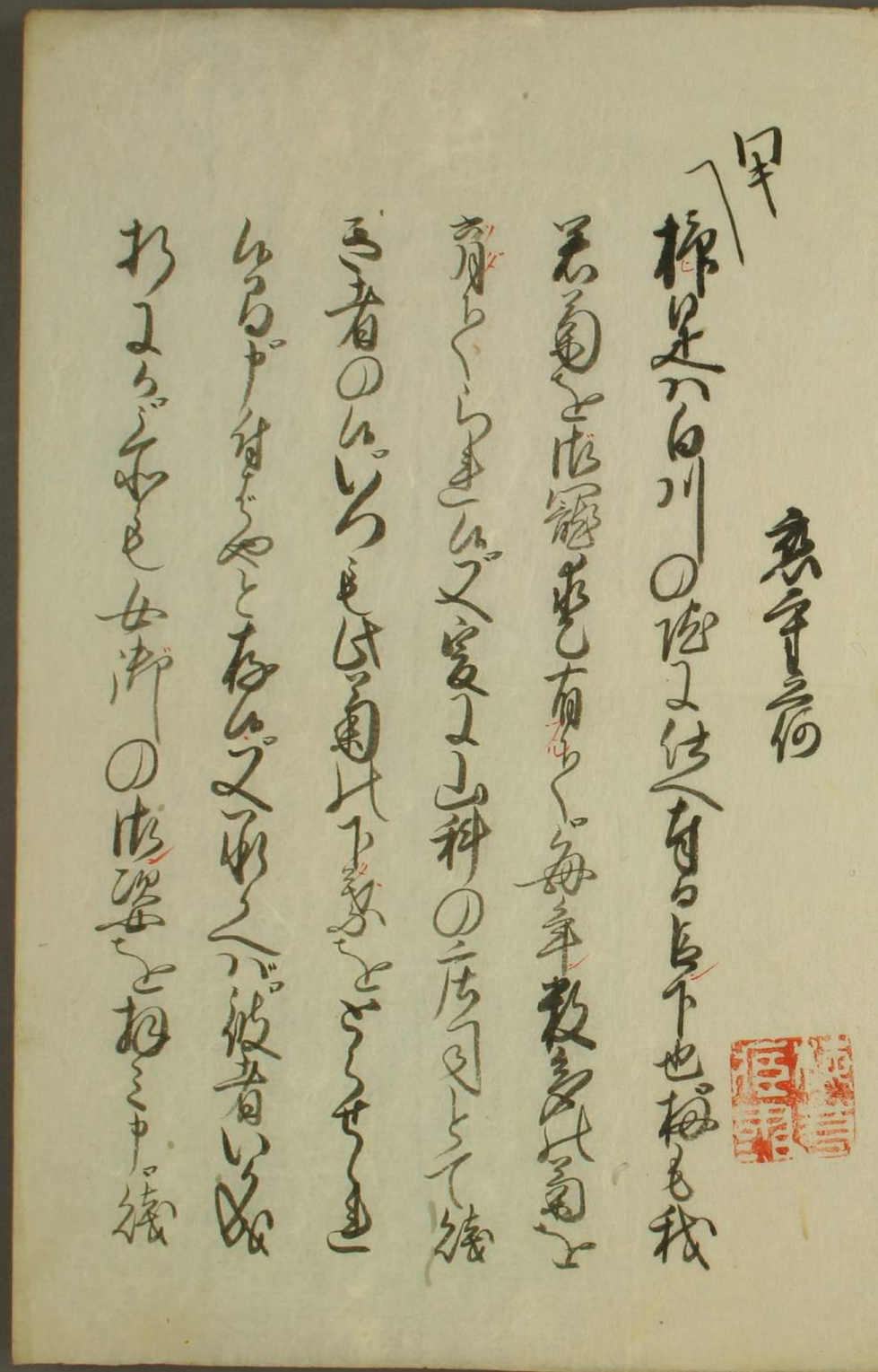
KODAK Color Control Patches ©The Tiffen Company, 2000
Blue Cyan Green Yellow Red Magenta White 3/Color Black
Kodak LICENSED PRODUCT

特別
チ12
3643
8

意童荷

故梅君誠太郎氏
昭和年月日
梅若重吉氏
寄贈



表章之荷

柳生の白川の流れ有り長下也梅も我
若菜を摘霞も有り毎年数多代菜を
育らくらまひ又宴と山科の庄司とて後
三者のいろも代菜代下家ちとどこ世も
ムラガ有ら共と存ぜんと存じ候者いな
わよらぶ和も女御の出家を梅の中の後

心ならぬ恋と成たるよし聞召及彼者をと申し
知らせんと存候いかに誰か有山科の
庄司に又事申さふずるにて候へ
詞 いかに庄司何とて
此程は御庭をば清めぬぞ
シテ さん候此ほどは
煩ひて参らず候
詞 実や汝は恋をすると云
何識ら
シテ 我身の事をば何とて志ろし召
れてあるぞ
詞 いや〳〵其色にて出らるゝ有ぞとよ

去ながら其事を女御も及聞召こさ
此荷をもちて御庭を百度千度廻るならば
其間に又拝ませ給ふべきとの御事なり
強き御諚にて有難く
シテ 何と此恋の事
此重荷をもちて御庭を百度千度
廻るとならば百度千度とはかくとも せん
ともかく廻りて又見る御姿を拝まん

さ世話になるこそじや　実よく心得て有ぞ

おん身が是非に悦ゆまそれなきる　〽たる

ば千萬と悦んでく　〽御方へ来りし足

に我が恋の平家よおん身が男さへ萬歳まで五

ぞ　〽実く是は男さへ萬歳まで　[illegible]

王成太師なれば　さても有べき道理でや是は

緩をことよ　口　和　内の二ツ綱てじ[illegible]

平家地上

平家節成とも通ぜんの　〽恋の指南ゟかちまう

らふよ　〽誠満載んで恋此石

人のまふらん　〽岩も石やそ恋の平家

地

実指かはる此萬字　〽更及びしるまゐる

ゐ山ぐちの淵ゐハまるづくれごとし　地　いろ

また川てるやもかあや実心を〽證ゐ守

の雲の深每よそがへりよしなく由をふ

一

思ひや少し慰むと露のかごと[illegible]
[illegible]たまさか逢ふ時もなくや恋の奴の身なれ
[illegible]らん
重くとも思ひは捨てじ唐国の
虎と思へば石にだに立つ矢の有るぞかしいはば
もかゝるためしも[illegible]
たしかなる心ぞ君が[illegible]重くなりし心かな
[illegible]人 [illegible]

しそも[illegible]は帰し 絶えぬ恋のやうに
[illegible]なりとうかりし
又あまも[illegible]実は命ぞ[illegible]
[illegible]や
地 よしなき恋を菅むしろ
臥して見れども居らればこそ苦しや独り寝の
我が手枕の肩かへて持てどももたれぬ
そも恋は何の重荷ぞ [illegible]

だうくわいのことをもて、意氏、孔子の法を称ぜ
ず、十日、一日、一所に意氏の報ひられそ人心
孔意をもつて、ひとりせきうん何と
所日ごとに変成すること、云語ひとしかが
成ものにらんそや。想じて決意と中事ハ
ごとく猿を摩ものもてしたがたるがごとく
ことめんとの心を使すそ
と悔りとくしたがうこと、よりく

更くるてかゆをこ悔きをもんせ拒せるが、彼去の思ふふか。
のけをまじきをもて拒ぜとおもひて意氏
ふやをまるくんこの事をもて知ぬ嫌しき
者ハ出しきは拒ぜ欲こてかゆをもて
こ矣ひふ事を思ぜ不使ことをふ決
よくくと拒くとりふるまるくいにすこ
彼山科氏庭ごて拒急て出庭まて

衆生成ては我が夜の勝こそ著けれ一念ハ無かるらん
舟人ハ何の苦しかるらん玉の緒と申あけて
彼著は此盗人目を御覧ぜさせ給え　懸る悪
我が中衆生なるをも執着せばこそ人は死なね
もののふむつかしく執著は心やすく　是ハ限りて
衆徒御説ありてはまめしたる世おほします
をいかたんと進ハだちしぜめくに給ふるれ

てはまた立居る柳もあし　地　報ひハ君
此世のあひ　吉野川岩ぎり通し
いかにかなるハ立し懸死まし一念語らば
此鬼と成も心よりなるぬる識るなるここと
よせつまの衆生ぬ　地　実人もよしなる心なる
うらみ夜のこゝ三世此契りかたちてこそ石
乃上にも肩と云て我ハよしなやあひ

ぐらゐ宮居の神垣も松ぞあらば
めしや蓬が葉なれば玉だすきかけまくも此
山の山なるも此の神垣はあればこそ
神垣といふもひるかへり浦の煙はま
しも鏡や天がし地獄の神垣音しるき
こり堅へ幾こり堅へ出ひの煙立ち別
かく稲葉の山風吹乱れ霞渡る此関に

遂ふ衣になく妻恨は霜夜の雨にあら
まちかねかねも清見ぞしや里をぞ姫小
松の葉がきれ神となりて千代の陰をも
らんや千代の陰をも守らん